

市民ボランティア募集を締め切ります

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会で協力していただくボランティアの募集について、皆さんからのご理解とご協力により、多くのボランティア登録をしていただき誠にありがとうございます。

ボランティア登録は、まもなく募集を締め切り、今後はスタッフの配置などを進めていきます。

まだ、ボランティア登録をしていない方で、ボランティアに参加してみたい方は、にかほ市実行委員会まで問い合わせください。

登録用紙はホームページからもダウンロードできます。



締切日：4月20日(金)

にかほ市国体弁当説明会を開催



3月29日、にかほ市内の弁当業者を対象に、国体で全国から訪れる選手や役員に提供する弁当の説明会が開催されました。

弁当の提供には、衛生や栄養に気をつかい、消毒や検査、カロリー計算などが細かく行われます。

国体期間中は、約8,000食の弁当が必要になることから、皆さんで協力して地元のおいしい弁当を提供していきたいと思ひます。

秋田わか杉国体 にかほ市実行委員会

TEL 43-7504 FAX 43-5707

E-mail: kokutai@city.nikaho.lg.jp

にかほ市国体ホームページ

<http://hyper.city.nikaho.akita.jp/kokutai/>

『スギッチダンスおしえタイ!!』が県民総参加運動の会議で活動を発表



3月28日、秋田わか杉国体での一人一役による県民総参加運動の達成に向けて、秋田ゆとり生活創造センター「遊学舎」で県民総参加運動連携会議が開かれました。

会議では、県内各地域で国体PR活動を行っている団体の中から、14組が活動を紹介。『スギッチダンスおしえタイ!!』も、スギッチダンス講習会やイベントでのスギッチダンス披露が関心を集めているなど、日頃の活動を発表しました。『スギッチダンスおしえタイ!!』は、今後も市内の幼稚園、保育園、小学校でのスギッチダンス講習会や、JFLホームゲームなどのイベントでスギッチダンスを予定しており、ますます国体のPRに向けて活動を広げていきます。

私は以前、東京都内の病院で看護師をしていたので、医療関係には興味を持っていました。地元に戻って来て今回の話を知り、各国の現地医療を直に見てみることも役に立つと感じ応募しました。まさか私が秋田県からただ一人選ばれるとは思ってもみませんでしたし、選ばれてからは研修などでとても忙しい日々になりました。

平成18年度内閣府青年国際交流事業「世界青年の船」(海外から150人・日本から115人参加)に秋田県から唯一参加した増村さん。1月25日から3月8日までの43日間、船でオーストラリアやニュージーランド、パプアニューギニアなどに寄港しながら、交流を深めてきました。



増村 祥子 さん
(三森/27歳)

各国のボランティアの
充実に驚きの連続

私は、4月から秋田大学医学部の保健学科の3年生に編入しますが、今回体験できた各国の医療を今後の学習に生かしたいと思っています。

大学では、終末期医療についての知識を深め、自分がこれからの地域医療に役立てるよう頑張りたいと思っています。



今後の地域医療に役立ちたい想い

また、私は各国の現地医療に興味があったので、寄港地ごとにさまざまなボランティア施設を訪問しました。小児病院を訪問した際、500人近いボランティアが子どもたちのために働いていたり、施設の開放的な造りや雰囲気、日本の病院との違いを感じさせました。どこの施設でも、地域をはじめ、医療や福祉などにボランティアが根付いていて、その体制の充実ぶりには驚かされました。

んだのですが、船内標準語である英語でのコミュニケーションがはかどらなくて戸惑うこともありました。でも、日々いろんな人々とふれあうことでだんだんと心が通じ合っているという実感がありましたし、毎日がこの旅で出会ったすべての人への感謝の連続でした。にかほ市の清酒「飛良泉」を紹介したら、とても評判が良く、仲良くなれるきっかけを演出してくれましたよ。

小出保育園 ゴう組(年長)



「みんなともだち」のうたが大すきなんだ。ずっとずーっとともだちでいられるように、みんななかよく手をつないで笑っているのがおえをつくったよ。

チビツツ美術館
じょうずにできた!